

## グループ別施設における検討課題について（意見集約）

### 【共通】

- ・ 公共施設の適正配置を検討する上で、本市が単独で施設を維持していくのではなく、広域での共同利用が可能な施設については、広域利用を踏まえた近隣自治体との連携（横軸連携）を視野に入れ、検討を行う必要がある。
- ・ 公共施設の長寿命化や建替を検討する際には、1つの施設に複数の機能を持たせる多機能化を図ることで、サービスレベルを低下させずに利活用度を上げる工夫が必要である。
- ・ 公共施設は、本市の特性（コンパクト性、市民同士のつながり等）を活かし、市民が安心して利用しやすい施設にすべきである。

### ① 福祉施設

- ・ 施設（長寿園）の用途を広げ、コミュニティ機能を持たせ多世代で利用できる施設として利活用度を上げる検討を行う必要がある。

### ② 生涯学習施設

- ・ 老朽化した施設のバリアフリー化・ユニバーサル化への対応や、施設を建替える際には、民間活力の導入について検討を行う必要がある。

### ③ 健康増進施設

- ・ 児童数等の減少を踏まえ、学校プールについては、個々の施設の状況を勘案しつつ、集約化や民間施設の活用、市民開放について検討を行う必要がある。

### ④ 学校教育施設

- ・ 施設の更新に費用をかけるのではなく、余裕教室等を活用した多機能化を図り、多くの市民が利用できる施設となるよう検討を行う必要がある。

### ⑤ その他施設

- ・ 公共施設の適正配置を進める上で、代替施設・代替機能については、本市の公共施設だけでなく、他市施設の活用も視野に入れて検討を進めて行く必要がある。